

第5回「おひさまの会」の概要をお伝えします。

19名（おひさまの会のスタッフ5名を含む）の参加者があり、温かいコーヒーをいただきながらわきあいあいとした雰囲気の中で中村校長先生のお話をうかがいました。

テーマ；「公立中学校の現状と今後」

講師；横浜市立吉田中学校 校長中村真一先生

日時；2009年12月5日（土）

10：00～12：00



1，吉田中学校の生徒の一年間の主な活動について

パワーポイントに映し出される生徒達の生き生きとした姿に参加者の表情が緩みました。

入学式 運動会 合唱祭 部活動紹介 農業体験 修学旅行
文化祭 卒業式等

2，吉田中学校の現状

- ・新制中学校の発足とともに、昭和22年創立
- ・小規模校（生徒数241名）
- ・学区はビジネス地域、官庁街、歓楽街、住宅街を抱え都心で広域
- ・全校生徒の33%が外国人及びそれにかかわる生徒が在籍、増加傾向

3，基本的な生活習慣について

- ・食事は孤食が多い。
- ・睡眠時間が短い。テレビゲームをしている時間が長い。
- ・携帯電話は毎日利用している。間接的なコミュニケーションでトラブルも多い。
- ・読書の時間はやや長い。
- ・家族との会話時間が短い。

4，生徒の意識

- ・自尊心が低い。（55%）
- ・地域行事に参加している。（50%）
- ・将来の夢や目標を持っている。（60%）
- ・大切な友達がいる。（92%）
- ・「授業が好き」がやや多い。
- ・人の気持ちのわかる人間になりたい。（90%）

5，生徒の気になる今日的課題

- ・人とのふれあい体験が少ない生活環境

- ・人間関係に苦しむ生徒

- ・社会経験や体験不足

周囲の支援、新しい経験、社会体験を増やす必要がある。

6 , 家庭内の瑞々しいコミュニケーション創出～家庭内の意思疎通不足～

「子ども達に遠慮していませんか」

- ・子どもに親の意見を伝える。

- ・子どもに十分に話をさせる。

- ・子どもの言い分をきちんと理解する。

- ・最後まで話し合おう。

7 , 吉田中学校の教育の特色・取り組み

- ・確かな学力を育む「わかる授業づくり」

開かれた学校づくり 地域が支える学び

- ・外国籍生徒教育と国際理解教育の推進

母語を話せる相談員の派遣 指導協力ボランティア

- ・小中学校連携から一貫カリキュラム

- ・外部人材の活用



8 , 参加者からの感想

公立学校の現状について現場にいる校長先生から具体的かつ正直かつ貴重なお話をうかがえ、参加して本当によかったです。ぜひこのような機会をまた設けていただけたら、より多くの保護者の方にとって有用な機会になると確信します。

多文化共生社会こそが子を豊かな人生に導くと信じているのでそのような環境をつくるために何か力になればと強く思いました。

今日はありがとうございました。とても興味のあるお話しばかりでした。公立中学校は地域社会の大きな資源であって欲しいと思いました。吉田中はその一歩を踏み出している様子がよくわかりました。地域も市民も保護者も主体的に参画意識を持って学校にかかわっていくことが大切と感じました。同世代の子どもを持つお母様方や先輩のお母様方のお話をうかがえる機会をぜひ増やしいってください。

(記録；中根 佐藤)



次回のおしゃべり会もホームページでご紹介しますのでぜひご参加ください。